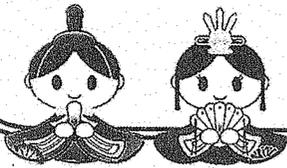


2026年3月号

Vol. 247

arch-tsushin

あーち通信



ある日の寒さは、息を吸うと肺まで冷たさが届いて、体の中につららができそうでした。雪で食べ物が無い野うさぎがかわいそうで、餌を置きに外に出たところ、凍ったデッキで滑って転び、そこに置いてあった箱の角で脇腹を強く打ちました。あまりの痛さに、自分でも聞いたことのない声が出て驚きました。夫には肋骨にヒビが入った可能性があると言われましたが、肋骨は治療のしようがなく、ただ痛み止めで過ごすしかありません。さらに乾燥で指先も割れています。

さて、英語で「肋骨にひびが入っている」は **I have a cracked rib.** リブは肋骨。リブローズの「リブ」ですね。「乾燥で指先が割れている」は **My fingertips are really dry and cracked.** crackedは「ひび割れた状態」という意味なので、「気をつけて、コップにひびが入っているよ」は **Be careful, the cup is cracked.** 「窓にひびが入っている」は **The window is cracked.**

春だというのに、私は少しポロポロです。みな様、足元には十分お気をつけて。

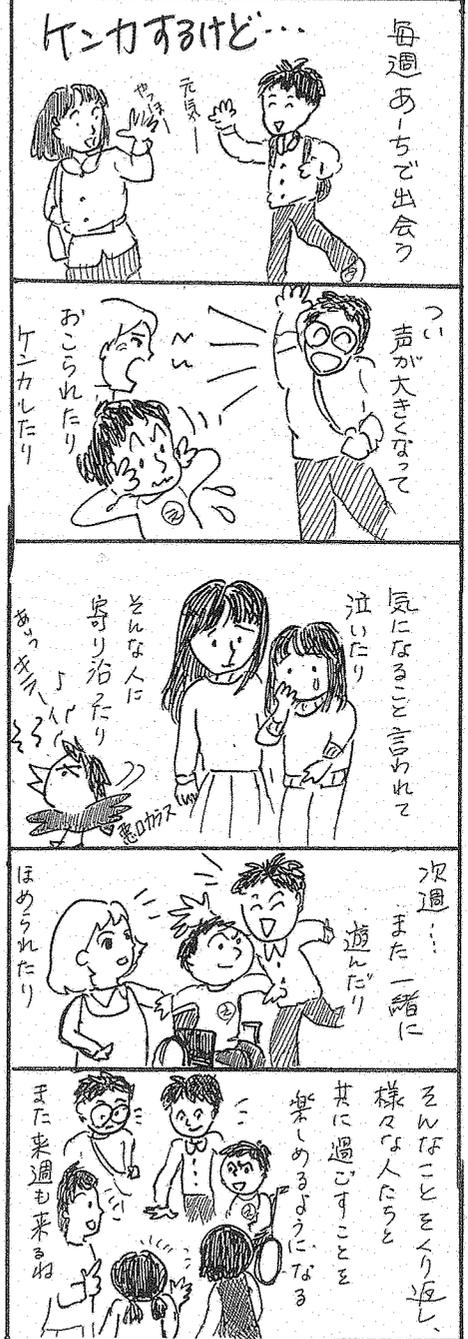
(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

<お知らせ>

あーち館内の照明について、経年劣化のため電灯のちらつきが酷く、利用者みなさまにも、度々ご指摘を頂いております。長い間ご迷惑をおかけし、申し訳ございませんが、この度、神戸市による、照明のLED化工事が行われることになりました。3月末頃に工事完了の予定となっております。

今しばらくの間、利用者みなさまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご了承ください。

えんじゅ君II by Bon



神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
 〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3階
 TEL&FAX 078-805-6090
 HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
 開館日 火～土曜日(月曜、日・祝除く)

神戸大学大学院人間発達環境学研究所
 ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
 〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
 TEL 078-803-7970
 FAX 078-803-7971

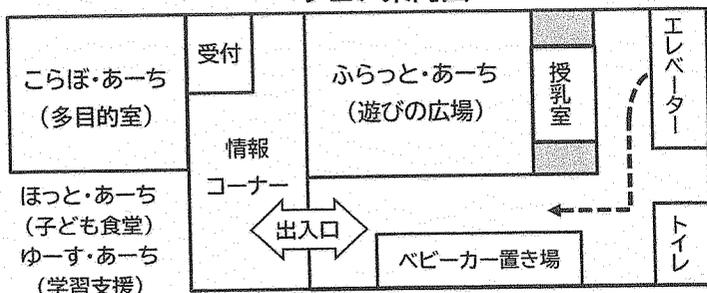
3月予定表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	日	休 館	
2	月	休 館	
3	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
4	水	月イチwith 10:30~12:00	
5	木		健康あーち(相談) 午前中
6	金	よる・あーち 17:00~19:20	
7	土	プラレール広場 10:30~16:00	あーちクローゼット 13:30~16:00 ※情報コーナー
8	日	休 館	
9	月	休 館	
10	火		
11	水		保健師さんとお話ししましょう 11:00~12:00
12	木		ベビーマッサージ 11:00~12:00
13	金	よる・あーち 17:00~19:20	
14	土	おはなしの国 11:00~11:30 ギフテッド寺子屋KOBÉ 13:00~16:00 ※ゆーす	あらかると音楽遊び 14:30~15:00
15	日	休 館	
16	月	休 館	
17	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	ふらっとリトミック 11:00~11:30
18	水		
19	木		
20	金	休 館	
21	土	プラレール広場 10:30~16:00	
22	日	休 館	
23	月	休 館	
24	火		
25	水		ベビーマッサージ 11:00~12:00
26	木		
27	金	よる・あーち 17:00~19:20	
28	土	おもちゃ病院 13:00~15:30	
29	日	休 館	
30	月	休 館	
31	火		

- ・プログラムは自由に参加・見学ができます。年齢制限はありません。また、都合により変更することがあります。
- ・ふらっと・あーちでプログラムが行なわれている間、プログラムに参加されない方もふらっとを利用できますが、遊べるスペースは狭くなります。どうぞご了承ください。

※ベビーマッサージに参加される方は、お子さんに合ったベビーオイルと、バスタオルを1枚お持ちください。
また、初めてあーちを利用される方は受付に10分ほどかかりますので、開始時刻より早めにご来館ください。

<フロア案内図>



ふらっと相談員

～お気軽にお声がけください～

助産師：水曜(午前)・木曜(午前)・土曜
保健師・保育士：不定期

お電話でも相談できます

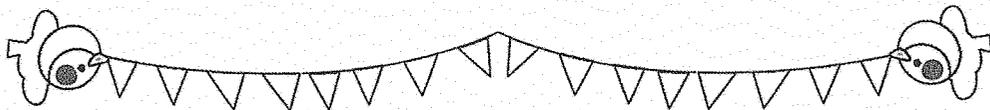


<プログラムのご案内>

- ★あーちクローゼット・・・着なくなったこども服を持参ください。他の服と交換できます。(持ち込みのみも可)
- ★あーち人形劇団「むー」・・・自分の好きなこと、できることを持ち寄って、一緒に人形劇遊びをしませんか？
- ★あらかると音楽あそび・・・手作り紙芝居や大型絵本に、おもしろい音や音楽を合わせた楽しい音楽遊びです。
- ★おはなしの国・・・ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
- ★おもちゃ病院・・・ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません。)

※おもちゃ病院の情報は Facebook 神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。

- ★ギフトテッド寺子屋 KOBÉ・・・ギフトテッドのこどものための居場所です。保護者同士の情報交換もできます。
- ★健康あーち(相談)・・・大学教員(公認心理師)が「ふらっと」でみなさんと交流します。日頃のモヤモヤする気持ちや健康にまつわることなど、ゆっくりお話ししましょう。
- ★月イチwith・・・参加者それぞれの困りごとと悩みごとについて語り合い、お互いに元気を分かち合いましょ
- ★ふらっと リトミック・・・リズムを感じて自由に体を動かしましょう！赤ちゃんは抱っこでも参加できます。
- ★プラレール広場・・・広いマットの上で自由に電車遊びができます。(係員は不在です。)
- ★ベビーマッサージ・・・赤ちゃんをやさしくマッサージしながら、親子でふれあいの時間を楽しみましょう。
- ★保健師さんとお話ししましょう・・・保健師が月1回、健康に関するお話しをします。個別のご相談もどうぞ。
- ★よる・あーち・・・「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラム。いろいろな年齢の参加者が交流し、学びあっています。



絵本の世界へようこそ

「クネクネさんのいちにち きょうはマラカスのひ」

文・絵: 樋勝朋巳

福音館書店 2013年4月発行



マラカスがだいすきなクネクネさんと、お友達のパーマさんとフワフワさんは、マラカスの演奏を披露するために発表会を開きます。チャッ ウー チャチャ ウーと毎日練習を重ね、迎えた発表会当日、朝からおもてなしのパンを焼き、お気に入りの一着に着替えて張り切るクネクネさんでしたが・・・。

好きなことに一生懸命な姿、失敗してがっかりする気持ち、もう一度チャレンジすること、どれも声高には語られないのに、個性あふれる登場人物たちの、ふんわりとした不思議な雰囲気のためか、素直に感情移入できます。

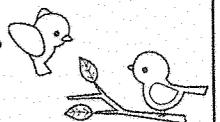
銅版画ならではの繊細な線と、ニュアンスのある色使いがとてもおしゃれで、おとなにも楽しめる作品です。
(あーちスタッフ 山名)

利用時間 火～土 10:30～16:00 (ランチタイム 12:00～12:45)

※ランチタイムの間は、おもちゃで遊ぶことはできません。

金曜日のみ 17:00～19:20 よる・あーち(居場所づくり・学習支援・子ども食堂)

注意事項 オムツやゴミは各自でお持ち帰りください。灘区民ホール内では捨てられません。
託児は行っていません。安全のため、お子さんの見守りをお願いします。
未就学のお子さんが遊ぶときには、保護者の付き添いが必要です。



第4回 悩んだときはあーちに戻ってみる。そしてまた、歩いてみる。

私は今、よる・あーちに、年に数回顔を出させてもらっています。最近では仕事の関係で、中々行くことができなくなっていて、残念ですが、どんなに時間が空いてしまっても、ふらりと遊びに行きたくなるのがあーちの不思議の1つです。そして、実は、実際には行けていなくても、私は悩んだ時、あーちを思い出し、あーちに戻っています。

さて、今日はまず、以前久しぶりに行ったあーちでの出来事を書かせていただきます。私は、小学校入学前のある男の子とプラレールをして遊んでいました。彼は、夢中になってレールをつなぎ、電車の街が広がっていきました。あともう少しでレールが全てつながり、電車が走るぞ！という時。お母さんから「子ども食堂にご飯を食べに行こうか。」と声がかかりました。「嫌だ！」と言って彼はレールをつなぎ続けます。時間もあるし…と気にされるお母さん。「行こうよ」、「嫌だ！」といったやりとりが繰り返される中で、どちらの思いも分かるし、私は何ができるだろうと考えていました。その子は、「電車を走らせたい！」という期待感をもって、これまでレールをつないできたので、あと少しのところまで止めるのは、やっぱり難しいかもしれない。このまま、無理に中断して行くよりは、あと少しなので、電車を一度走らせて、その子の中で気持ちのよい終わりをつけて行ったらよいのかも。そう思い、「あと少しなので、一度走らせて行っても大丈夫ですか。」とお伝えしてみることにしました。その時…

「こんな時はな、こう言ったらいい！」

と、作業所での仕事を終えて、あーちに到着し、ふらりふらりと色んなところで話して楽しんでいたある青年がやってきて、彼に向かって力強くグーサインをしながら言いました。

「あとは任せろ！残りは作ってやるから！」

するとそれまでは「嫌だ」と言っていた彼が、こくくと頷いて、とつとつとお母さんの方に走っていったのでした。私が、「あとは作っておくから行っておいで」と言っても、その子は「自分が作りたい」と思ったのではないかと思います。私が、彼がご飯に行けるようにと悩み発した言葉は、やはり、彼にご飯に行ってほしいという思いとともに届くのではないかと思います。一方、突然やってきたお兄ちゃんの「あとは任せろ！」は、彼にとって、バトンタッチしたくなるような心強い言葉だったのだと思います。何がどうだっ

たのか、言葉にするのは難しいですが、言葉で説明しきれないようなことだからこそ心に残っているのかもしれません。

さて、今の社会では、人との関わりがどんどんサービス化しているように思います。障がいの分野では、サービス化と専門性は強い結びつきがあり、専門性が主張されるようになっていきます。そして、私自身も、放課後等デイサービス(障害児通所支援施設)の職員として働きながら、「ここからここまで」と線を引きサービスの関わりをしている自分、「専門性」を自信をもって働くための支えにしようとしている自分がいると感じています。自分が行っていることを意味づけようとするほど、気づけば、サービス化や専門性の枠の中に位置づけようとしている自分がいるのです。サービス化や専門性をどう捉えるか。自分の中でまだ整理はできていません。ただ、自分自身に問いかけ続けなければいけないと思っています。

そして、そんなときは、今回のエピソードを含め、これまで自分が出会ってきた仲間や感じてきた雰囲気を出し、「支援者」ではなかった時の自分に立ち返ります。“支援”が特定の関係の中で起きるものではなく、あらゆる場でいつの間にか起こっている場に立ち返ります。この時間は今の私にとってなくてはならない時間です。加えて、2025年は、職場の仲間と一緒に、福祉制度の枠外の取り組みをはじめました。支援する人—される人、限定された場—誰でも来ていい場、制度内—制度外。行ったり来たりしながら、みんなと、「ともに生きていくこと」について考えていけたらいいなと思っています。

そんな新しい取り組みの場で、ある高校生の子の思いつきから、足の裏に絵の具をたっぷりつけて、お隣のおばあちゃん家からもらったシーツの上を歩きまわり、大きな看板を作りました。「昔は、こんな贅沢な遊びはできなかったわ」「田植えみたいね」と楽しそうに歩いていたご近所の方の足形。「え、どうしょ」と言いながら半分だけシーツの上に乗ったある青年の足形。みんなの足に比べて、二回りほど小さい遊びに来た男の子の足形…。あーちとはまた違った雰囲気だけど、私もできることをできる場所でやっていきたいな。肝心の文字が見えにくいほど賑やかな足形で溢れた看板を見ながら、そう思ったのでした。

(あじさい)